SONY

トリニトロン® カラーモニター

KX-21HV1
KX-27HV1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

写真はKX-27HV1です。

PROFEEL PRO

目次

主な特長

高解像度 —きめ細かな画像を再現します

- ビデオ入力時の水平解像度――560本。
- RGB入力時には、2000文字対応。

高画質 —高度な映像技術を採用しました

- ファインブラックトリニトロンの採用による美しい黒と、コントラストがよく、深みのある画像。
- 黒ツブレ、白ツブレの少ない安定感ある画像。
- 生き生きとした肌色と、美しく輝く白色。
- "文字のまわりの虹"や色のにじみの少ない透明感ある画像。
- 画面全体にわたり、均一でくっきりした輪郭。
- シャープなフォーカスによる鮮明な画像。

高音質 —パワフルなステレオハイファイ音が楽しめます

音声実用最大出力 15W+15W（EIAJ/8Ω）（KX-27HV1）
7W+7W（EIAJ/8Ω）（KX-21HV1）

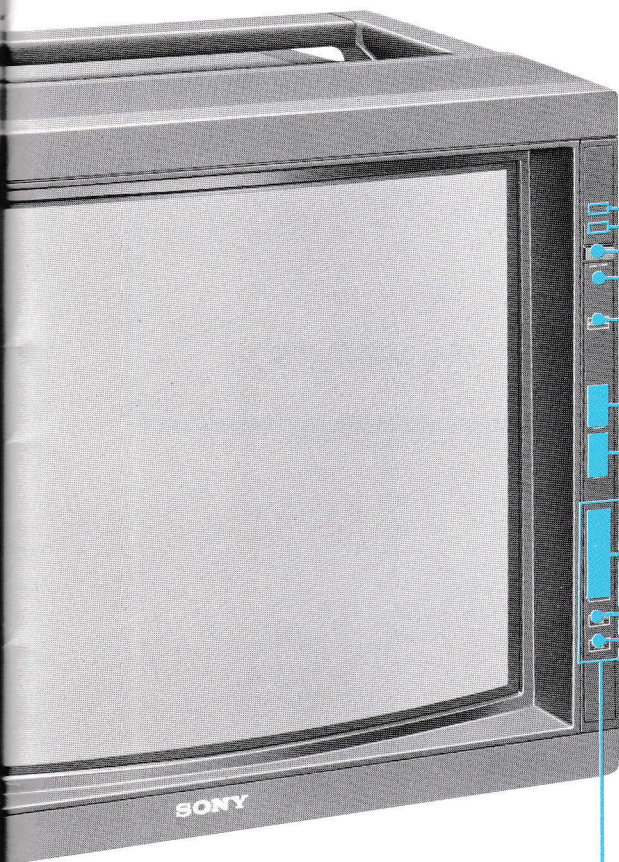
便利な機能

- **豊富なビデオ/オーディオ入出力端子を装備**
  さまざまなAV機器との組み合わせが楽しめます。
- **AVシステムのコントロールセンターとして**
  コントロールS入出力端子、リモコン受光部を装備。
- **アナログとデジタルRGB入力端子（各1系統）**
  文字多重放送やキャプテンシステム、マイクロコンピューターなどに対応。画像の調整やスーパーインポーズなどもできます。
- **新感覚タッチキー式コントロールパネル**
  操作したい時だけ表示を出すことができ、画面の妨げになりません。

各部の名前

前面

POWER（パワー）スイッチを押し込みON（入）にしてCONTROL（コントロール）スイッチをON（入）にした状態。

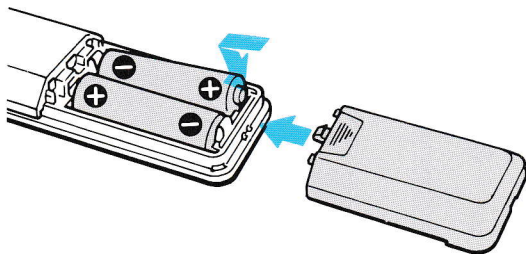
●内のページにくわしい説明があります。
裏面コントロールつまみ類は⑱ページ、接続端子板は㉘〜㉙ページをご覧ください。

モニターへの入力信号を選びます。
くわしくは❽ページからをご覧ください。

各部の名前 リモートコマンダーRM-543

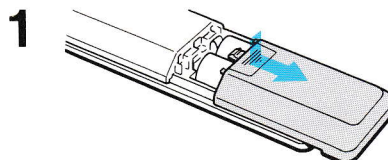
ご注意

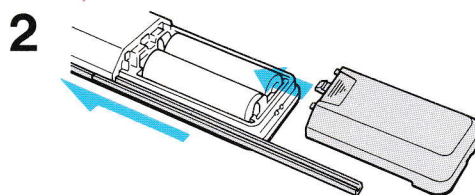
- 落としたり中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光のあたる所や暖房器具のそばなどの温度の高い所や、湿気の多い所には置かないでください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができない場合があります。

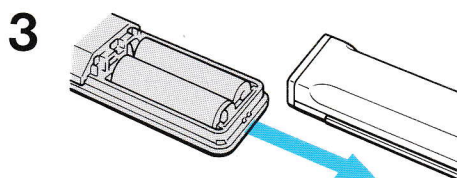
電池の入れかた

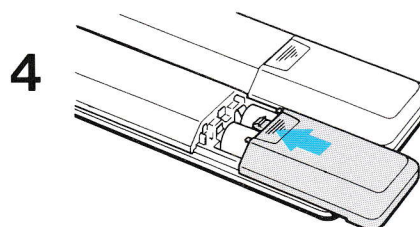
ふたをすべらせてはずし、単３型乾電池２個を、⊕⊖の向きを正しく入れ、ふたを元どおりにはめ込みます。

モニターとチューナーのリモコンの合体

付属のスライダーを使って、モニターのリモコンと、別売りのカラーテレビチューナーVT-X5Rのリモコンを合体させることができます。

1

それぞれのリモコンのふたを開ける。

2

モニターのリモコン側面の溝にスライダーを差し込んでからふたを閉める。

3

チューナーのリモコンをモニターのリモコンのスライダーに差し込み、２台を合わせる。

4

チューナーのリモコンのふたを閉める。

リモコンの左右はどちらでも組み合わせができます。

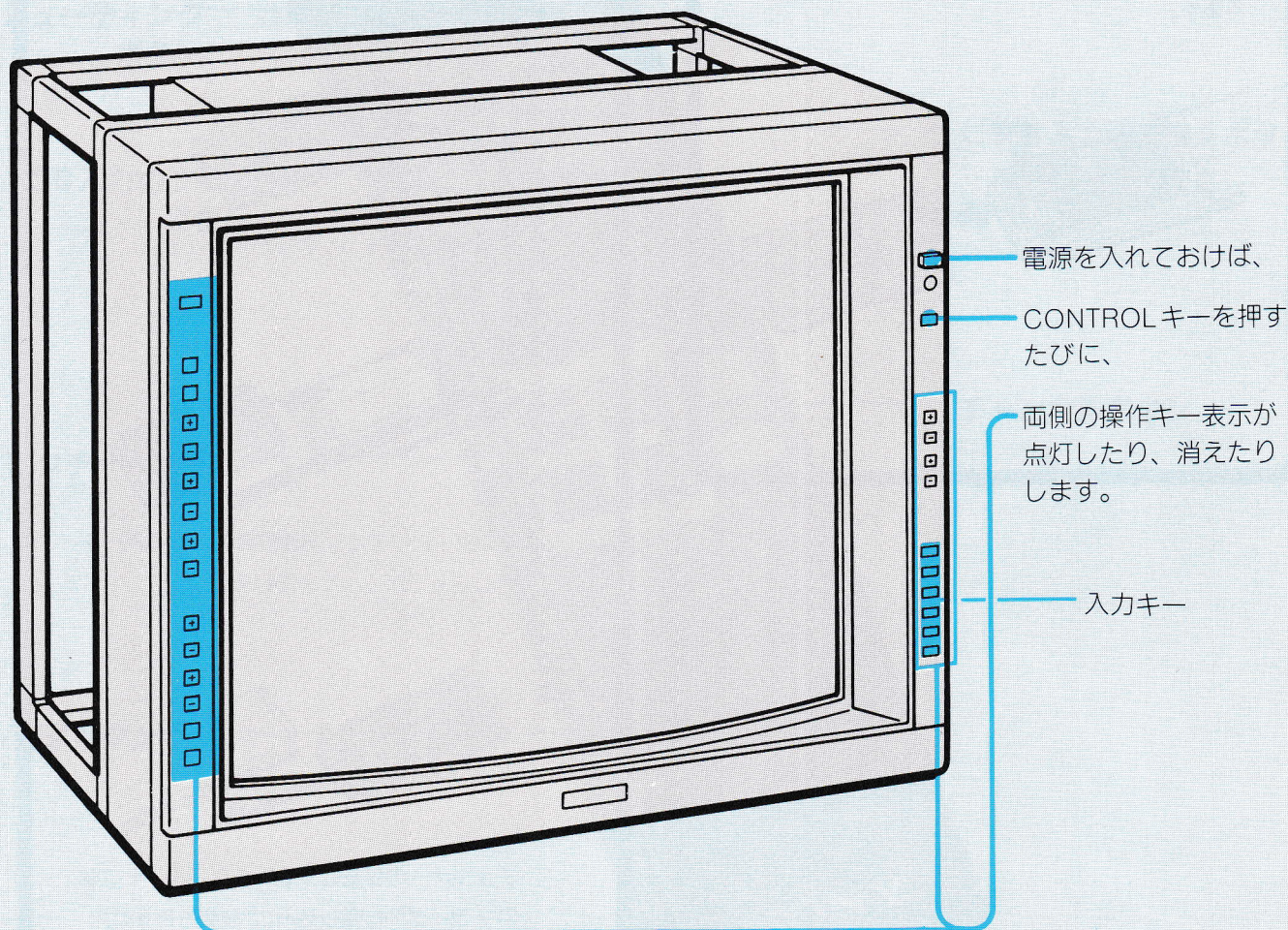
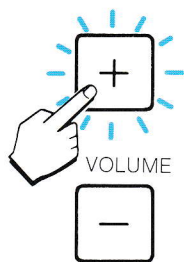
乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤まると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

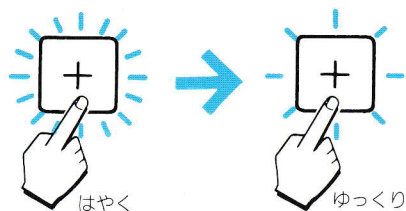
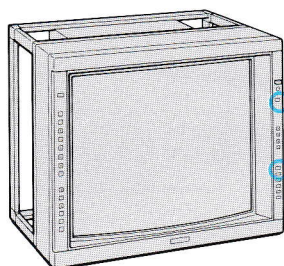
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。

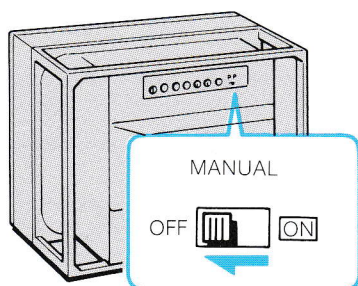
液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

操作キーの使いかた

あらかじめ㉘ページからをお読みになり接続をし

点灯したキーを押すと点滅します。

キーから指を離すと点滅は止まります。

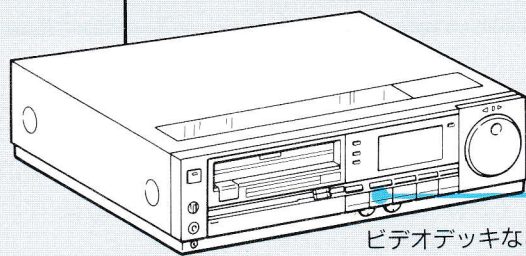
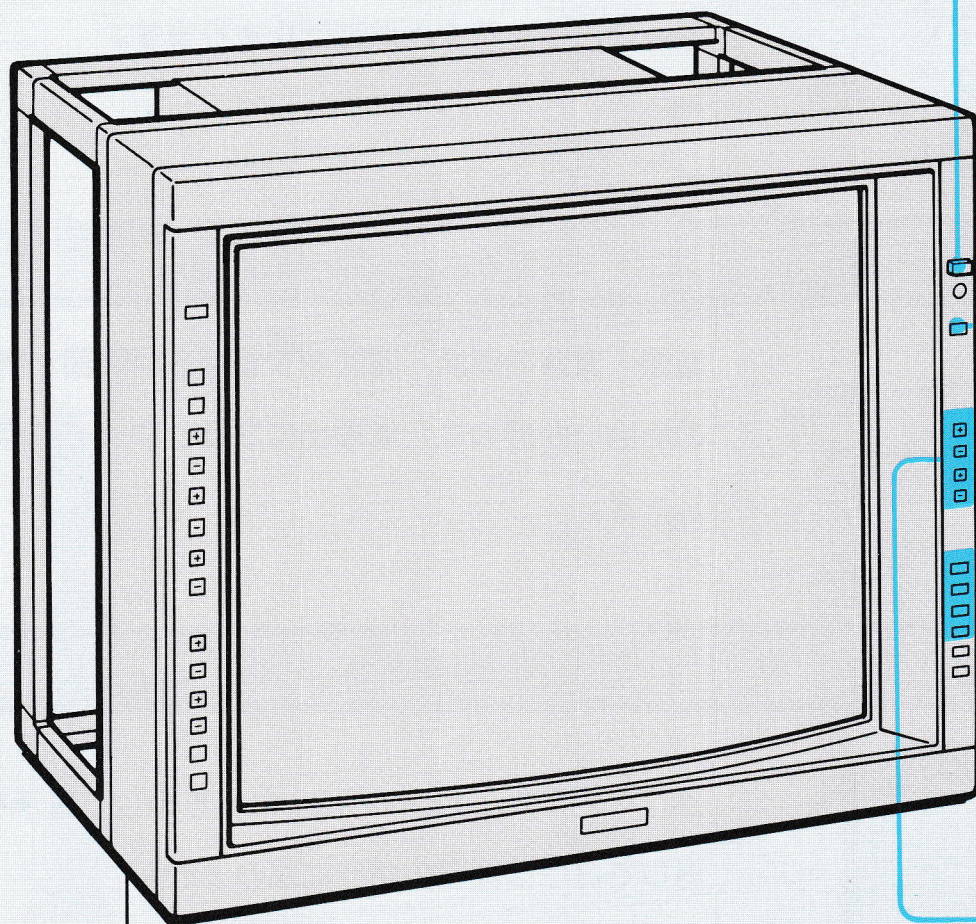
ただし選んだ入力キーだけは常に点滅しています。

画像・音声の調節、調整をする場合、調節、調整の度合いが最大または最小になるとゆっくり点滅します。

操作を終えたらCONTROLキーを押して表示を消しておけば画面の妨げになりません。

ただし、選んだ入力キーは消えずに表示されたままです。

一旦セットした画像をマニュアルで変えられなくするには

CONTROLキーを押し、必ず表示を消してから裏面上部のMANUAL ON/OFFスイッチをOFFにします。
CONTROLキーが働かなくなります。

展示会や店頭ディスプレイなどでお使いください。

● 電源を入れて画像が出てから数秒間、色が変化する場合がありますが、オートホワイトバランス回路が動作しているためですので故障ではありません。

ビデオ系機器の画像を見るには

●映像・音声出力付きのマイコンをつないだ場合、マイコンの水平同期が標準から大幅にずれていると、画像が見にくくなることがあります。

●市販のマイコンの映像や音声出力のコネクターは、製品によって異なります。接続については、マイコンの説明書もご覧ください。

1 POWER（パワー）スイッチを押し込む。

2 CONTROL（コントロール）キーを押す。

CONTROL 以外のキーが点灯します。

3 VIDEO（ビデオ） 1,2,3または4キーを押して入力する画像を選ぶ。

選んだ入力キーが点滅します。

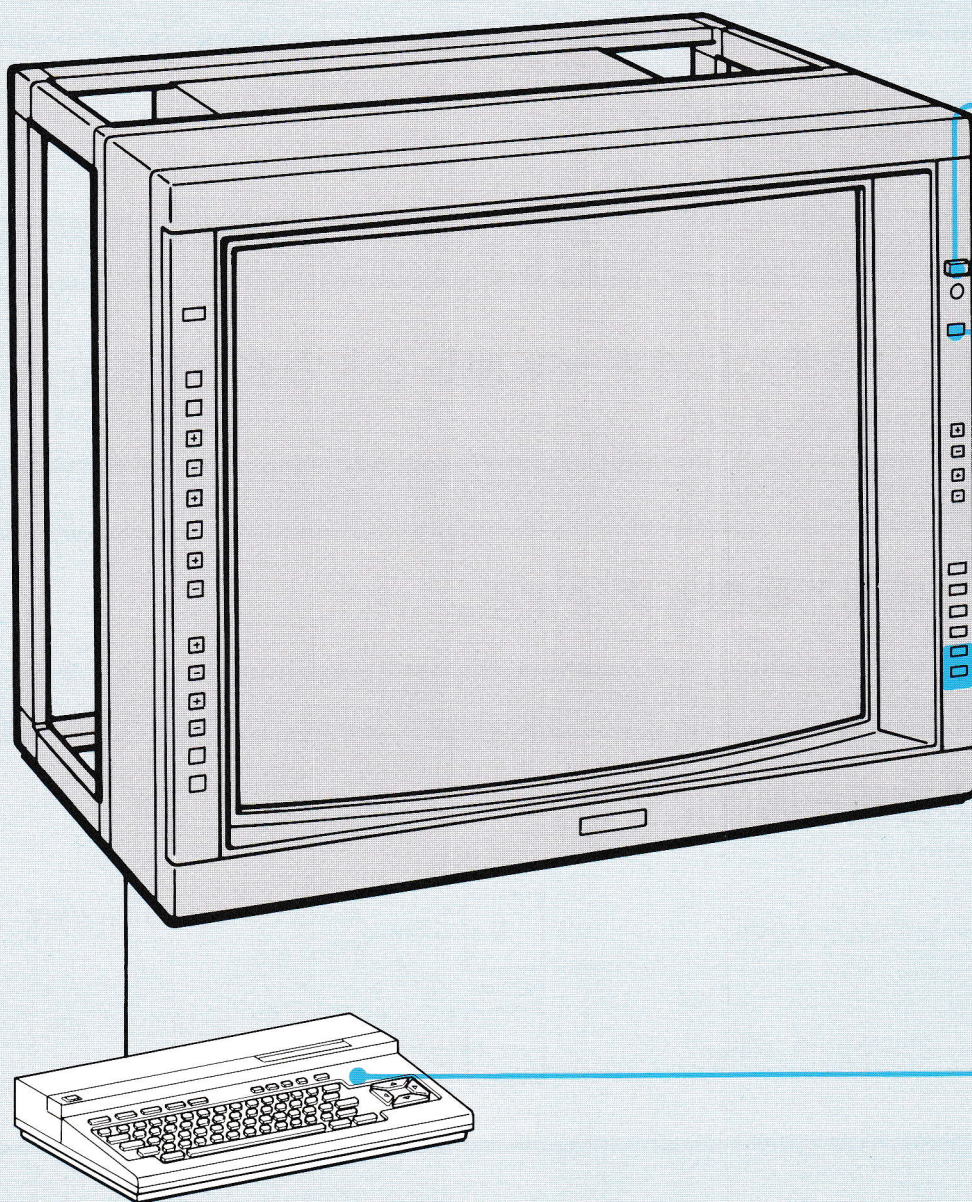
4 接続した機器で画像を再生する。

5 お好みの音量と画像にする。

6 CONTROL（コントロール）キーを押す。

３で選んだ入力キーは点灯し、それ以外は消えます。

●さらに細かい画像の調整は⑯〜⑲ページをご覧ください。

RGB系機器の画像を見るには

音量を調節するには
VOLUMEキー ＋(だんだん大きく)/－(だんだん小さく)を押す。

画像と音声の調整については⑯～⑲ページをご覧ください。

準備 **裏面端子板上の** スーパーインポーズスイッチを「入」に。
AVコントロールスイッチを「入」に。

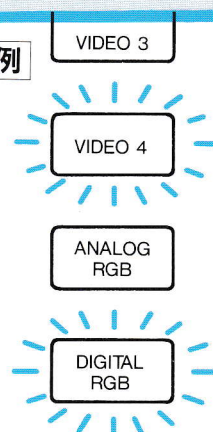
(㉘～㉙ページ)

1 POWER(パワー)スイッチを押し込む。

2 CONTROL(コントロール)キーを押す。

CONTROL以外のキーが点灯します。

3 ANALOG(アナログ) RGB(アールジービー)またはDIGITAL(デジタル) RGB(アールジービー)キーを押して入力する画像を選ぶ。

選んだ方のキーと、それまで選んであった
ビデオ系のキーが両方同時に点滅します。

4 接続した機器で画像を出力させる。

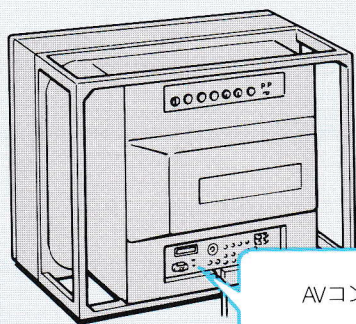
5 CONTROLキーを押す。

3で選んだ入力キーが点灯し、それ以外は消えます。

音声について

DIGITAL RGBを選んだ時に、同時に点灯しているビデオ入力の音声入力端子、または(ビデオ1)マルチ入力端子に音声入力すれば、その音声を聞くことができます。

ANALOG RGBを選んだ時は、アナログRGB入力からの音声を聞くことができます。
つなぐ機器によっては、ビデオ入力からの音声も聞くことができます。

AVコントロールスイッチの使いかた

ふだんは「入」にしておきます。
アナログRGB入力端子につないだAVコントロール機能を持つマイコンや文字多重デコーダーなどの電源を入れると、モニターは自動的にアナログRGBモードに切り換わります。(デジタルRGBを選んでいる時は切り換わりません。)
自動的にRGBモードになったときは、モニター本体またはリモコンの入力切り換えキーではビデオモードに戻れません。入力を切り換えるには、AVコントロールスイッチを「切」にします。

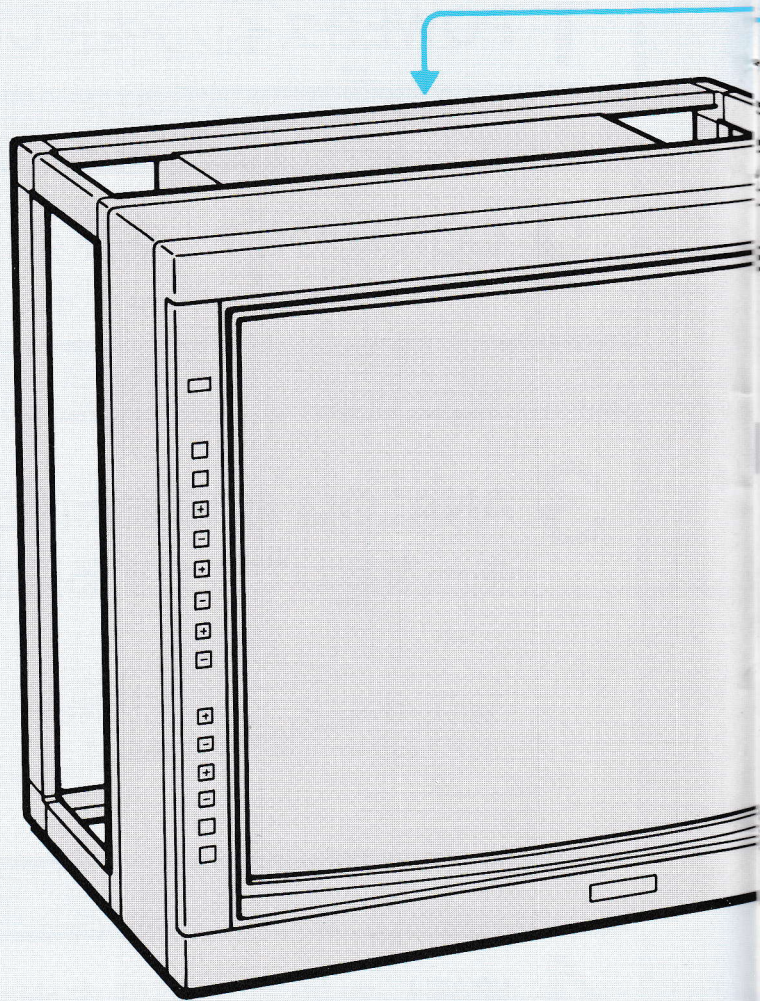
これは便利

マイコン側を操作せずに入力切り換えができます
AVコントロールスイッチが「入」の状態で、AVコントロール機能を持つマイコンなどを動作させたまま一時的にビデオモードに切り換えるにはAVコントロールスイッチを「切」にします。

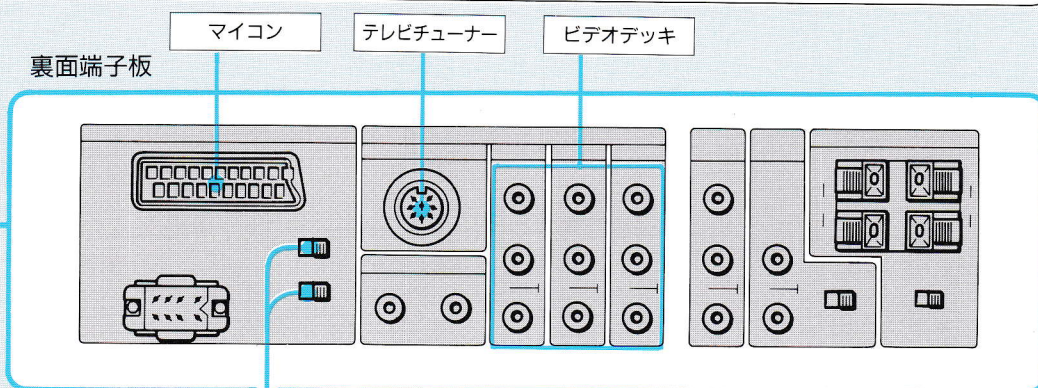
アナログRGBコネクターをはずしたり、マイコンの電源を切らなくてもビデオモードへの切り換えができます。

AVコントロールを「切」にしたままにするとマイコンなどに連動してRGBモードへの切り換えができませんので、ビデオをなどを使い終わったら「入」にしておきます。

スーパーインポーズスイッチの使いかた

アナログRGB入力端子につないだマイコンにスーパーインポーズ(2つの画像を重ねる)機能がある場合のみ。

スーパーインポーズ「切」について

ソニーのマイクロコンピューターSMC-70Gなどのアナログ RGB出力(R. G. B端子)と、同期出力(SYNC端子)だけをモニターのアナログRGB入力端子につないで、Ys出力を使わずにRGBの画

テレビチューナーやビデオなどの画像とマイコンの画像を重ねて見るには

1 スーパーインポーズスイッチを「入」に。

AVコントロールスイッチも「入」に。

2 VIDEO(ビデオ) 1,2,3または4キー(テレビチューナーやビデオをつないだ入力)を押す。

選んだ画像が出ます。

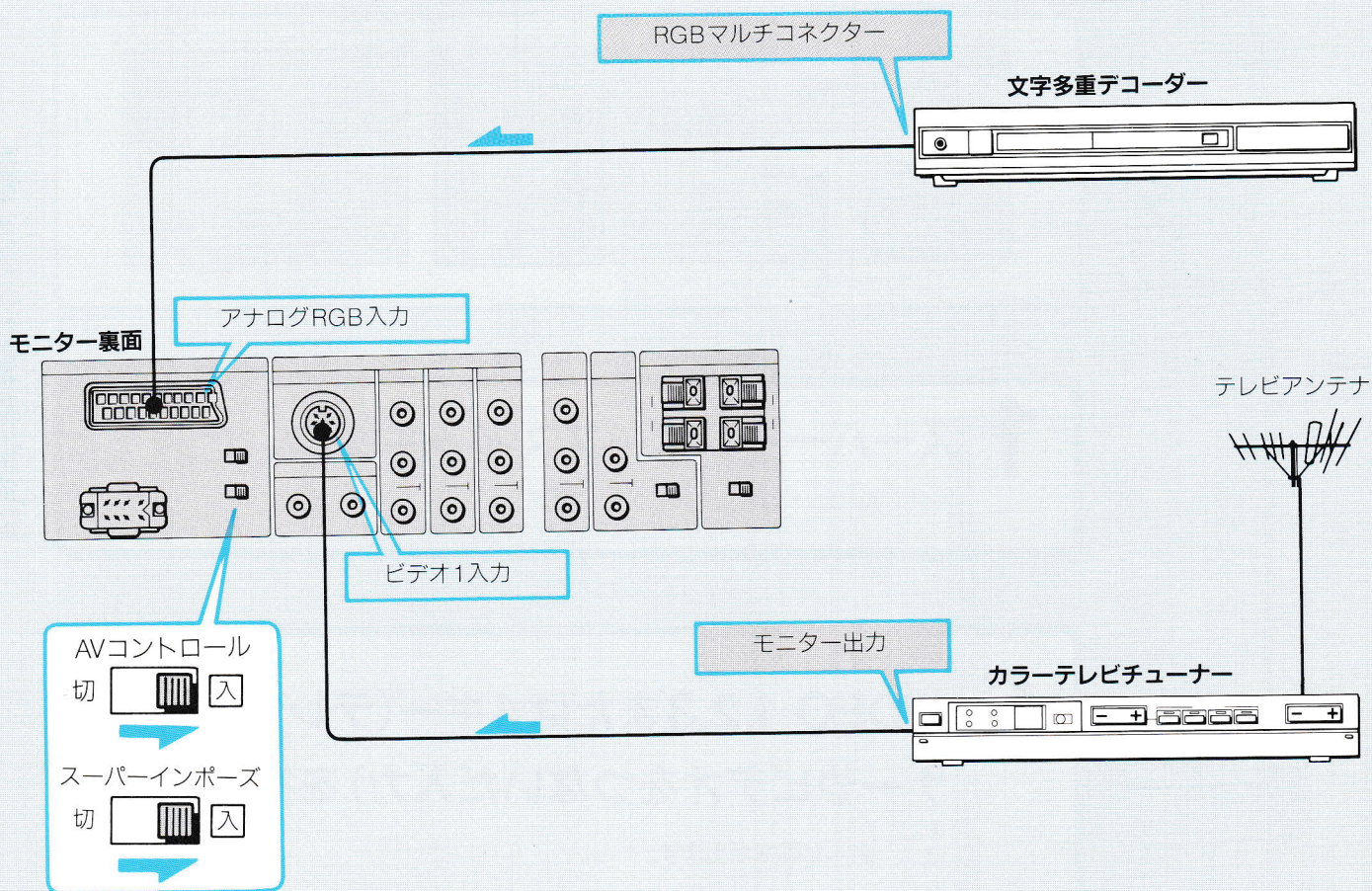
3 ANALOG(アナログ) RGB(アールジービー)キーを押す。*

マイコンの画像が重なって出ます。

＊AVコントロールスイッチが「入」の場合は、AVコントロール機能を持つ機器の電源を入れると自動的にアナログRGBモードになります。

像を見るときは、スーパーインポーズスイッチを「切」にします。「入」の位置では正常な画像が出ませんのでご注意ください。

アナログRGBマルチコネクターについては、㊲ページをご覧ください。コンピューターの説明書も併せてご覧ください。

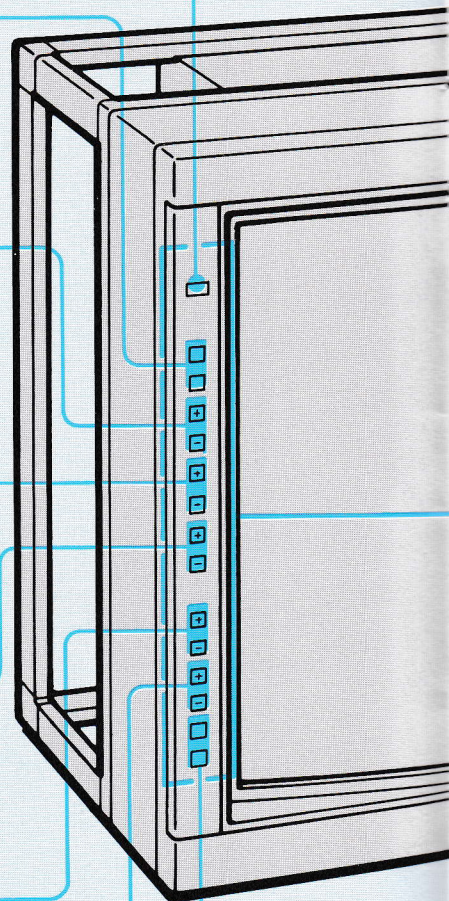
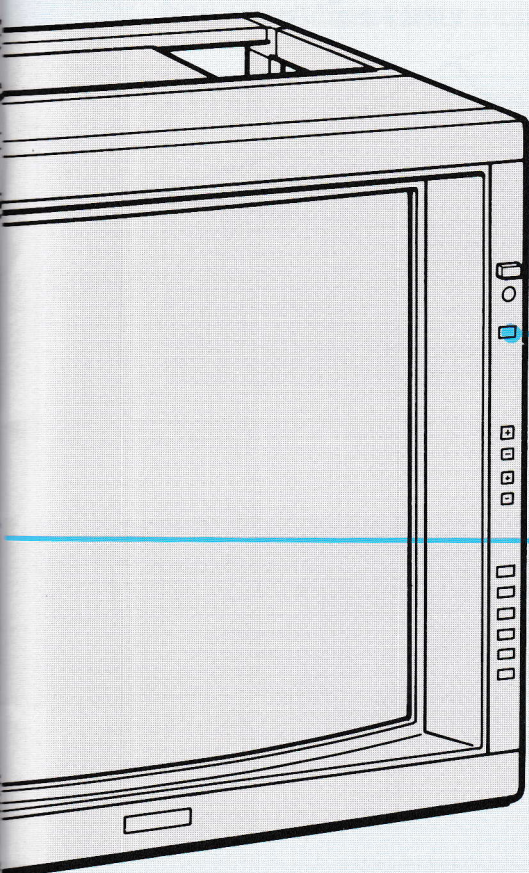
文字多重放送を見るには

スーパーインポーズスイッチ、AVコントロールスイッチを「入」にします。あとの操作は⑫ページと同じです。

画面を調整するには

文字放送画面 ⇨ PICTUREとBRIGHTキーを使います。
テレビの画面(文字放送画面に重ねて見るときなど) ⇨ ふつうと同じように、PICTURE、HUE、COLOR、BRIGHT、SHARPキーを使います。(⑯〜⑰ページ)

画像と音声の調整

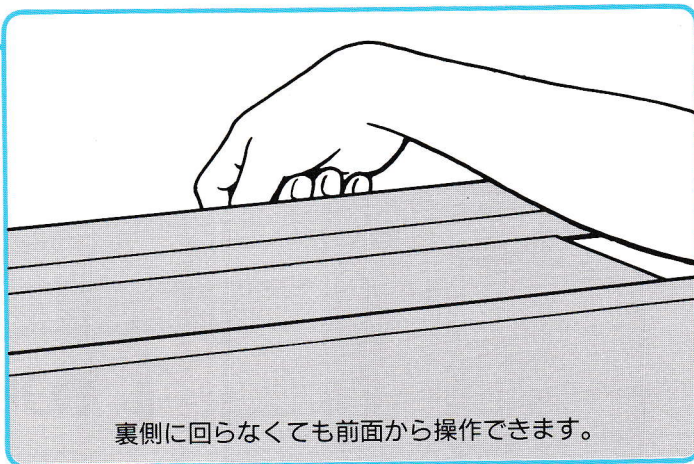
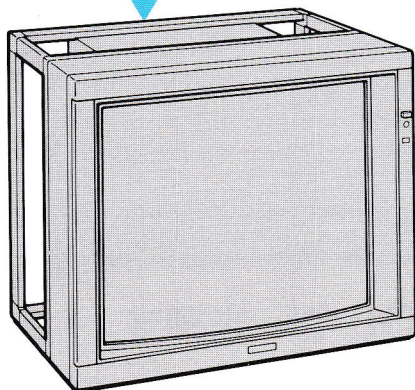
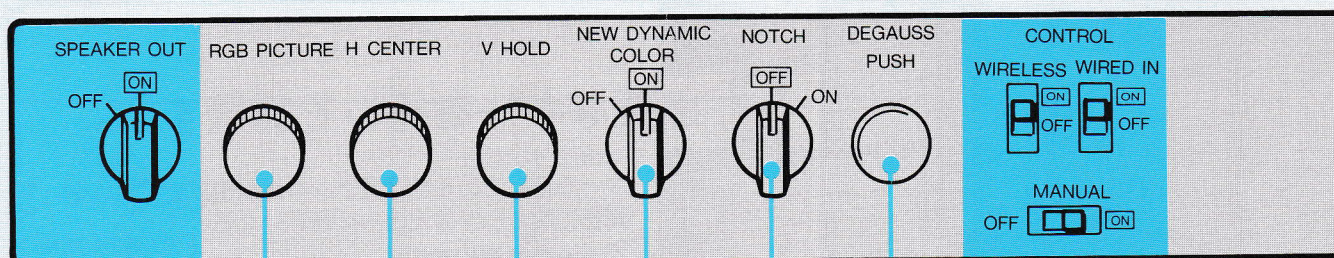
標　準	RESET	調整できる項目がすべて標準状態になります。
色あい	GRN HUE RED	緑がかる 紫がかる
色の濃さ	+ COLOR −	濃くなる うすくなる
明るさ＊	+ BRIGHT −	明るくなる 暗くなる
シャープネス 画像のりんかく	+ SHARP −	くっきりした画像に 柔らかな画像に
高音＊	+ TREBLE −	強くなる 弱くなる
低音＊	+ BASS −	強くなる 弱くなる
バランス＊	L BALANCE R	左スピーカーの音が大きくなる 右スピーカーの音が大きくなる

＊印のキーは、RGB 入力からの画像と音声にも働きます。

1 CONTROLキーを押す。

他のキー表示が点灯

2 必要なキーを押して調整する。

キーを押している間は表示が点滅します。
調整の度合いが最大または最小になると、
ゆっくり点滅します。

裏面コントロールつまみ類での調整

VIDEO ⇨ ビデオ系画像の調整用
RGB ⇨ RGB系画像の調整用

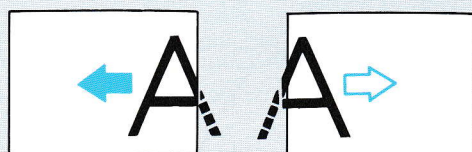
RGB入力からの画像を調整するには RGB

RGB PICTURE つまみを使います。
色の濃さ、コントラスト、明るさを同時に調整できます。
まん中のカチッと止まる位置が標準です。

- アナログRGB入力で、裏面のスーパーインポーズスイッチが「入」の時はこのつまみは働きません。
  モニター前面のPICTUREキーで調整してください。
- RGB PICTUREつまみで調整をする場合は、前面のPICTURE、HUE、COLOR、SHARPキーは働きません。

	スーパーインポーズスイッチ	
	入	切
アナログRGBの画像	前面のPICTUREキーで調整	
デジタルRGBの画像	裏面上部のRGB PICTUREつまみで調整	

デジタルRGB入力からの画像が左右にずれているときは RGB

H CENTER つまみで画像の左右のずれを直します。
まん中のカチッと止まる位置が標準です。

このつまみはビデオ、アナログRGBからの画像には働きません。

画像が上下に分かれたり、流れたりするときは VIDEO RGB

V HOLD つまみで画面を安定させます。

自然な肌色と美しい白色を得るためには VIDEO

ふだんは **NEW DYNAMIC COLOR** スイッチを **ON** にしておきます。
RGB入力からの画像には働きません。

ビデオ入力につないだマイコンなどの画像が見づらいときは VIDEO

NOTCH スイッチを **ON** にします。
*ふだんは **OFF** にしておきますが、画像に細かい点状の妨害が出て気になるときは **ON** にします。**ON** のままにしてテレビ放送などの画面の鮮鋭度が欠けるときは **OFF** にします。

モニターを移動したり、向きを変えたりした場合、地磁気によって起こる

色ムラ（部分的に色づく現象）を消すには VIDEO RGB

DEGAUSS ボタンを約5秒間押し続けます。

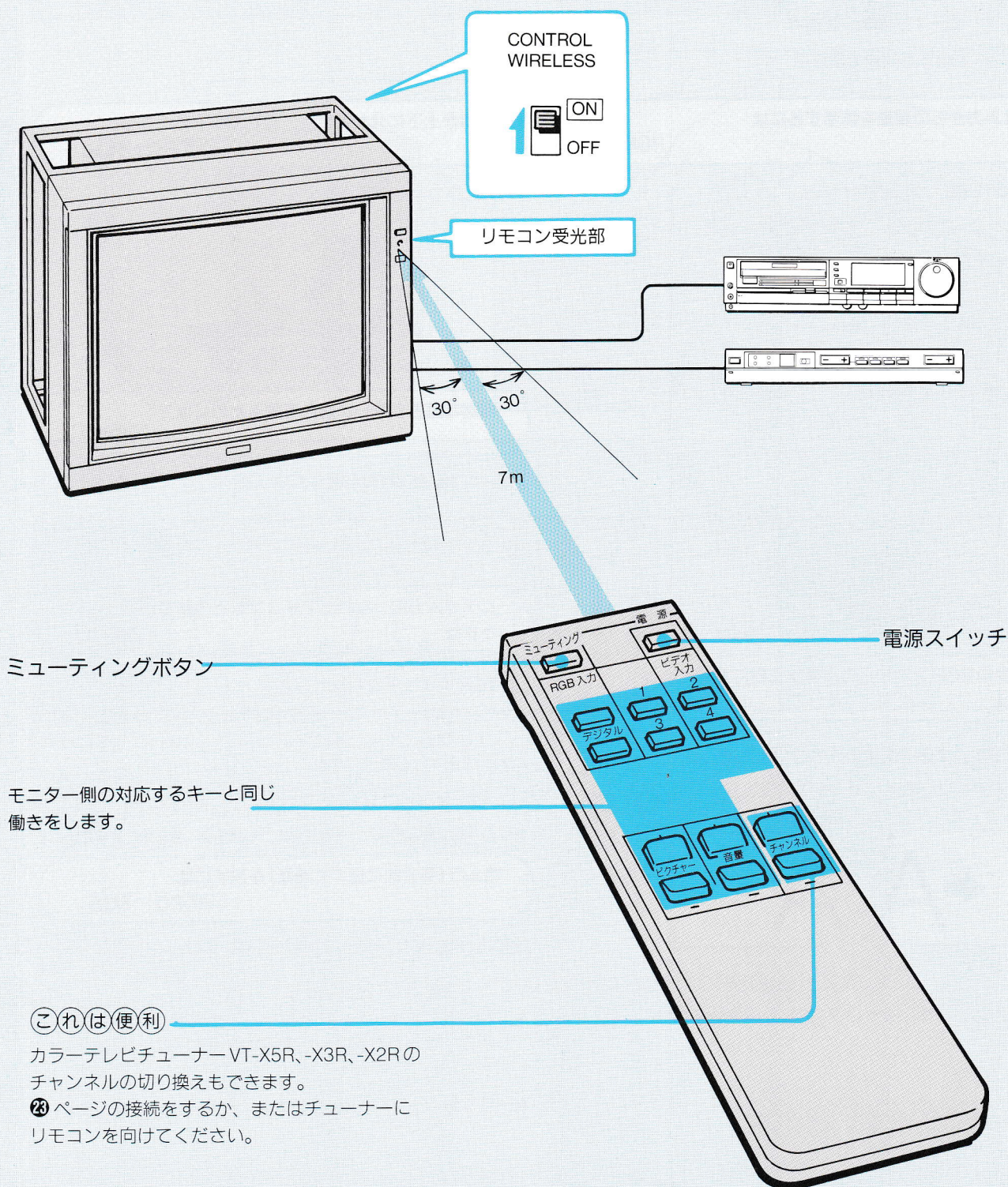
- 5秒以内にボタンから指を離すと、色ムラが起こる場合があります。色ムラが起こった場合は再度5秒以上押しつづけてください。
- 一度5秒以上押した後10分間は、再度押しても働きません。

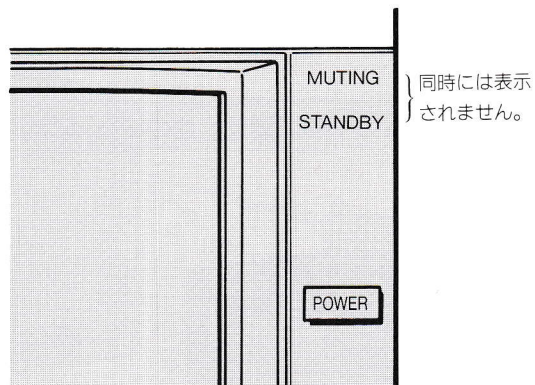
リモコン操作

モニターの準備　●POWER(電源)スイッチをON(押し込んだ状態)に。
●裏面上部の CONTROL WIRELESSスイッチをONに。

これは便利
カラーテレビチューナーVT-X5R、-X3R、-X2Rのチャンネルの切り換えもできます。
㉓ページの接続をするか、またはチューナーにリモコンを向けてください。

瞬時に音を切るには

ミューティングボタンを押す。

MUTING（ミューティング）表示が点灯します。
もう一度ミューティングか、音量ボタンを押すと元に戻ります。

同時には表示されません。

電源を切るには

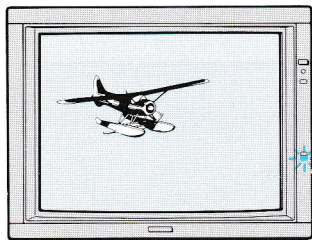
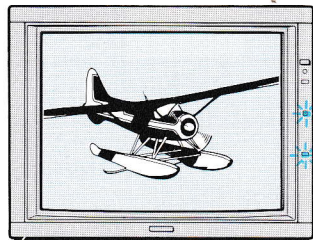
リモコンの電源スイッチを押す。

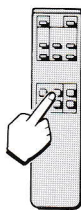
STANDBY（スタンバイ）表示が点灯します。
再び見るときは、もう一度このスイッチを押します。

リモコンを受けつけなくするには

モニター裏面上部のCONTROL（コントロール） WIRELESS（ワイヤレス）スイッチをOFFにする。

電源が入っていれば、操作キーが点灯、または点灯していなくてもリモコンで、本体側の対応するキーの操作ができます。
入力を切り換えると選んだキーが点灯します。

操作キーが点灯している状態でリモコン操作をすると、リモコンで入力している対応キーのみが点滅し、他のキーは消えます。
ただし選んでいる入力キーのみは点灯しています。

選んでいる入力キーのみが点灯しています。

リモコンで押したキーが点滅。

入力切り換え。

複数の機器を同時に操作するには

さまざまなAV機器を組み合わせてお使いになる場合、それぞれの機器を別々に操作しなくてはならないのはとてもやっかいです。ところがこれらの機器を＊コントロールS端子同士でつないでおけば、AVシステムの中心となる機器に、各機器に付属のリモコンを向けて、接続した機器の操作もできます。組み合わせる機器を離して置くこともでき、大変便利です。

＊ソニー独自のコントロールシステムです。
コントロールS端子の有無は機器によって異なります。

モニターをシステムの中心に据え、他の機器は離してラックの中などに収納

CONTROL(コントロール)スイッチについて

CONTROL(コントロール) WIRESS(ワイヤレス)スイッチ

通常は**ON**にしておきます。
OFFにすると、モニターのリモコン受光部が、リモコンからの信号を受けつけなくなります。

コントロールSシステムを使い、モニター以外の機器を通して、モニターを操作する場合などは、**OFF**にしておきます。リモコンの信号とコントロールS信号が同時にモニターへ入るのを防げます。(㉕ページ)

CONTROL(コントロール) WIRED(ワイヤード) IN(イン)スイッチ

通常は**ON**にしておきます。この状態では、コントロールS入力またはビデオ1マルチ入力端子からモニターへの入力ができます。
OFFにすると、コントロールS信号はモニターへ入力されなくなります。

カラーテレビチューナーを、ビデオ1マルチ入力へつなぎ、モニターのコントロールS出力を、チューナーのコントロールS入力へつないだ場合は**OFF**にしてください。(㉓ページ)

＊CONTROL(コントロール) MANUAL(マニュアル)スイッチについては❼ページをご覧ください。

- 映像、音声の接続について、くわしくは㊱ページをご覧ください。
- コントロールS入力が接続されている他の機器のリモコン受光部は働かなくなります。

モニターのリモコン受光部を通して他の機器を操作するには

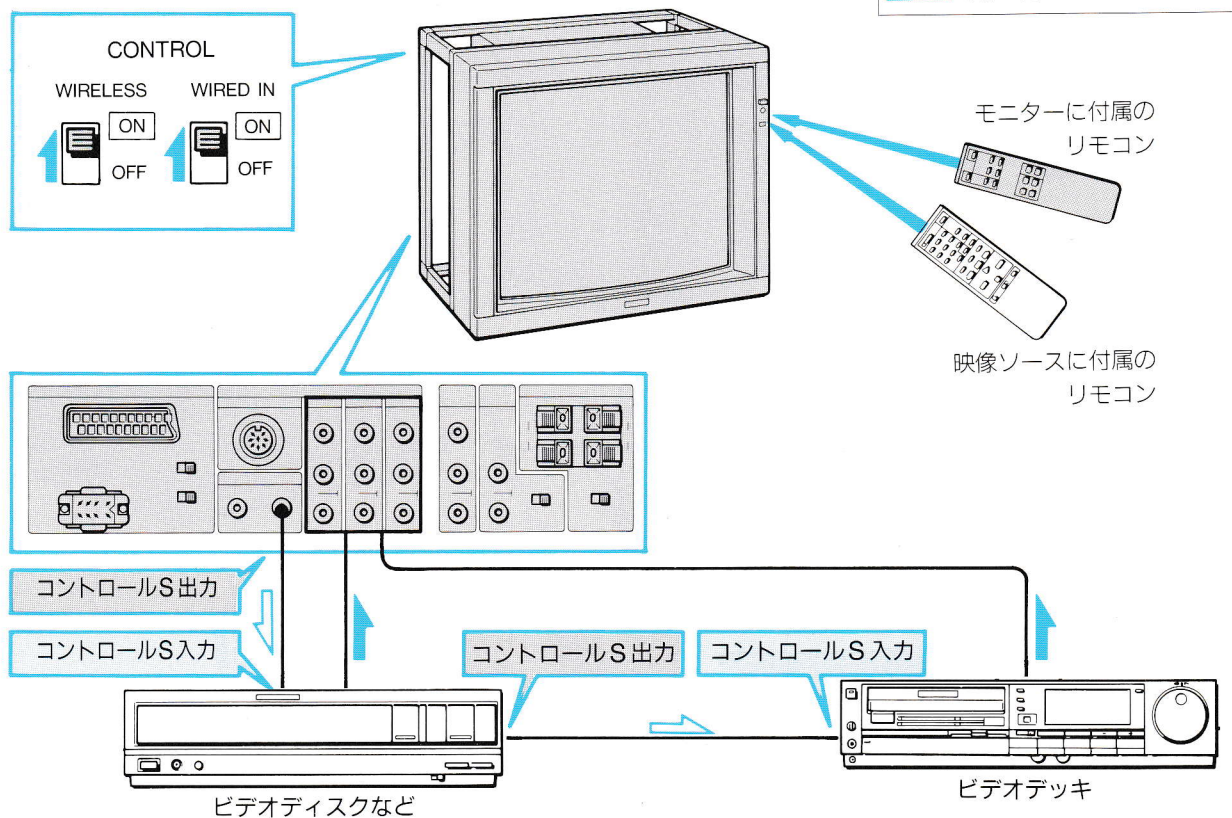
1 チューナーのコントロール S 入力とモニターのコントロール S 出力をつなぎます。必要に応じてビデオデッキなどもチューナーまたはモニターにつなぎます。
（このときビデオデッキなどのコントロール S 入力は、チューナーのコントロール S 出力につないでおきます。）

2 モニター裏面のスイッチを切り換えます。

CONTROL（コントロール） WIRELESS（ワイヤレス）スイッチ	→ ON（オン）に。
CONTROL（コントロール） WIRED IN（ワイヤード イン）スイッチ	→ OFF に。

＊CONTROL WIRED IN スイッチを OFF にしないとモニターやチューナー、コントロール S 出力で接続された機器のリモコン操作はできません。

3 各機器に付属のリモコンを、モニターのリモコン受光部へ向けて操作します。
リモコン信号がモニターのコントロール S 出力端子からチューナーのコントロール S 入出力端子を通って各機器へ送られます。

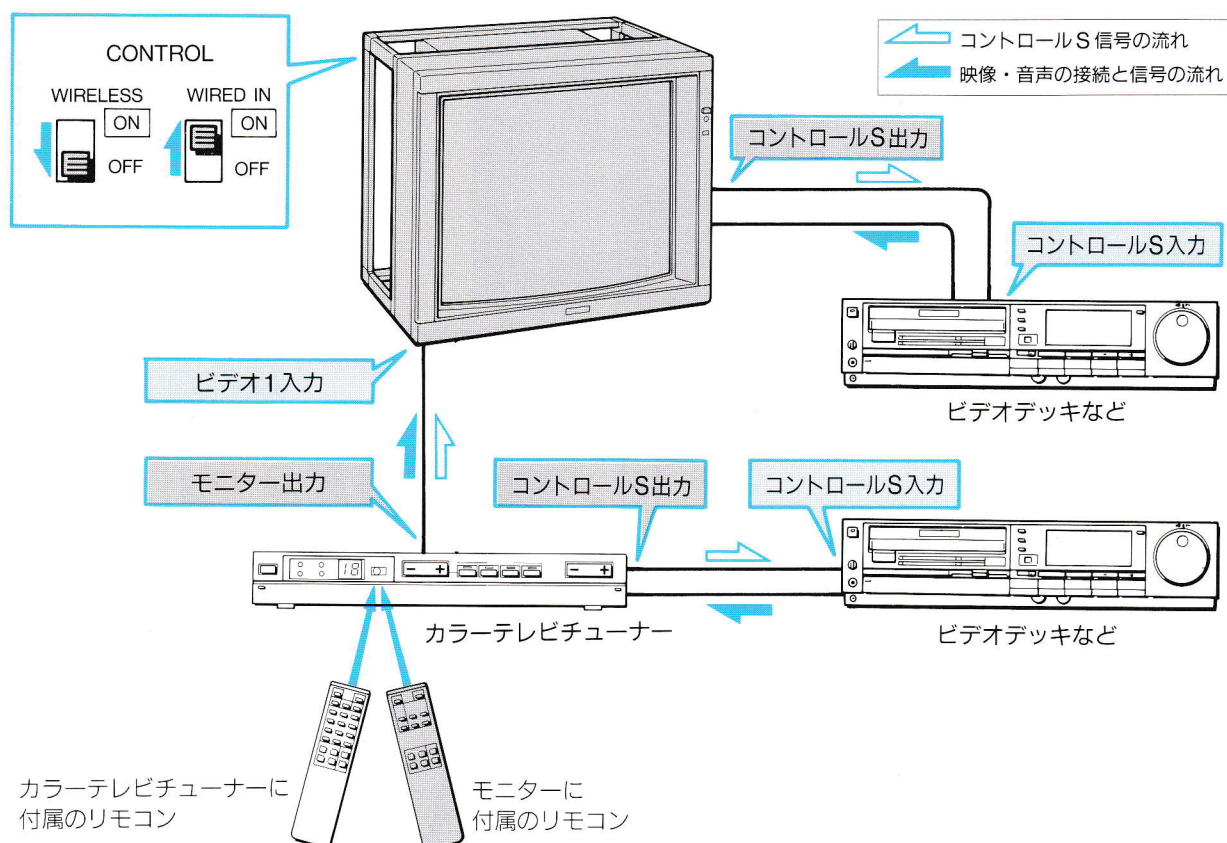
ビデオ2、3または4入力端子にビデオデッキなどをつないだ場合

1 ビデオディスクなどのコントロールS入力とモニターのコントロールS出力をつなぎます。
必要に応じて、他の映像機器も接続してください。

2 モニター裏面のスイッチの位置を確かめます。

コントロール ワイヤレス CONTROL WIRELESS スイッチ	→ ON に。
コントロール ワイヤード イン CONTROL WIRED IN スイッチ	→ ON に。

3 各機器に付属のリモコンをモニターのリモコン受光部へ向けて操作します。
リモコン信号がモニターのコントロールS出力端子から各機器のコントロール入出力端子を通じて送られます。

他の機器のリモコン受光部を通してモニターを操作するには

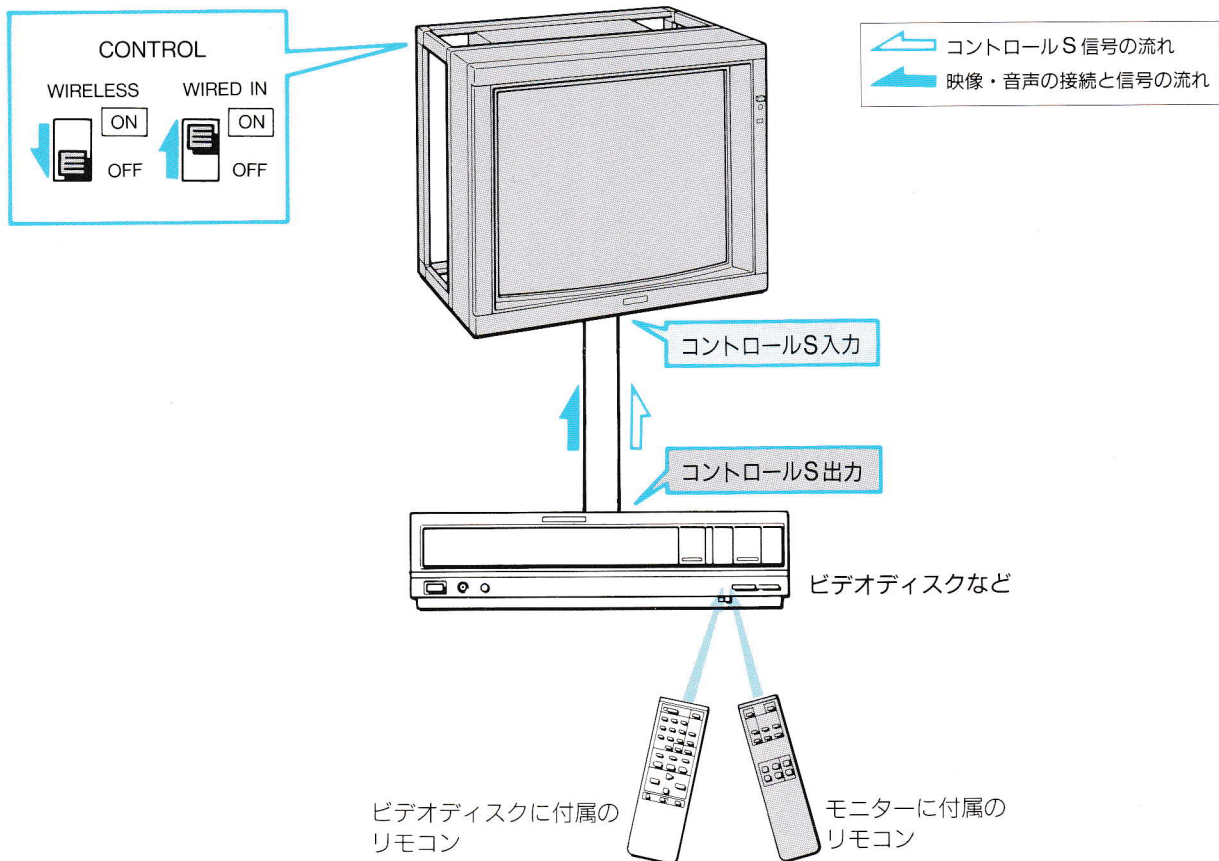
ビデオ1マルチ入力端子にカラーテレビチューナー（VT-X5Rなど）をつないだ場合

1 ビデオ1マルチ入力端子にカラーテレビチューナーをつなぎます。
（これだけで、モニターとチューナー間のコントロールS接続も兼ねます。）
他の映像ソースもモニターまたはチューナーにつないでください。

2 モニター裏面のスイッチを切り換えます。

CONTROL WIRELESS スイッチ	→ OFF に。
CONTROL WIRED IN スイッチ	→ ON に。

3 各機器に付属のリモコンを、カラーテレビチューナーのリモコン受光部へ向けて操作します。
リモコン信号が、チューナーのモニター出力、またはコントロールS出力からモニターまたは他の機器へ送られます。

- カラーテレビチューナーVT-X3RまたはVT-X2Rを接続する場合は、チューナーにあるシステム切り換えスイッチを必ず**HF2**の位置にしてください。HF1の位置では、モニター側でチューナーを操作したり、チューナー側でモニターを操作することはできません。
- カラーテレビチューナーVT-X1R、VT-X10などを使う場合は、モニター側でチューナーを操作したり、チューナー側でモニターを操作することはできません。この場合、モニターの操作はモニターのリモコンでできます。（⑳〜㉑ページ）

ビデオ2、3または4入力端子にビデオディスクなどをつないだ場合

ビデオディスクなどのコントロールS入力をつなぎます。
あとの操作は、カラーテレビチューナーをつないだ時と同じです。（㉕ページ）

ひとつの映像を複数のモニターで見るには

コントロールＳ信号の流れ
映像・音声のの接続と信号のれ

CONTROL
WIRELESS　WIRED IN
ON　OFF　ON　OFF

CONTROL
WIRELESS　WIRED IN
ON　OFF　ON　OFF

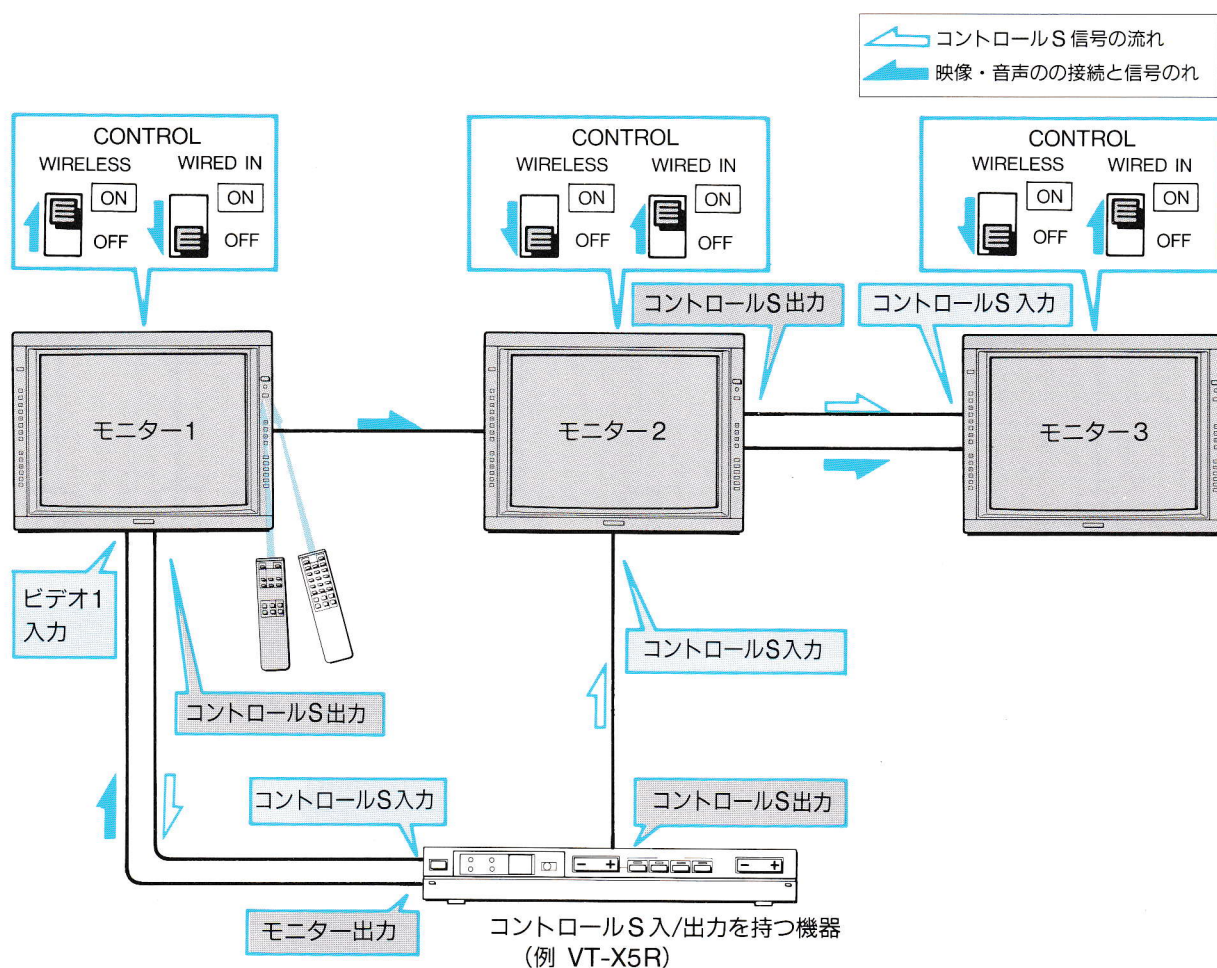
CONTROL
WIRELESS　WIRED IN
ON　OFF　ON　OFF

コントロールS出力
コントロールS 入力

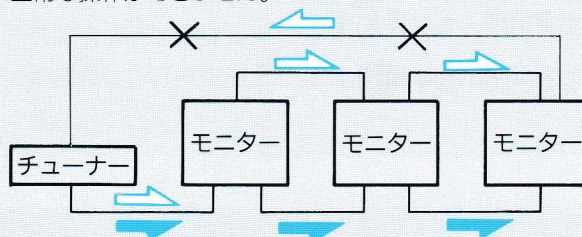
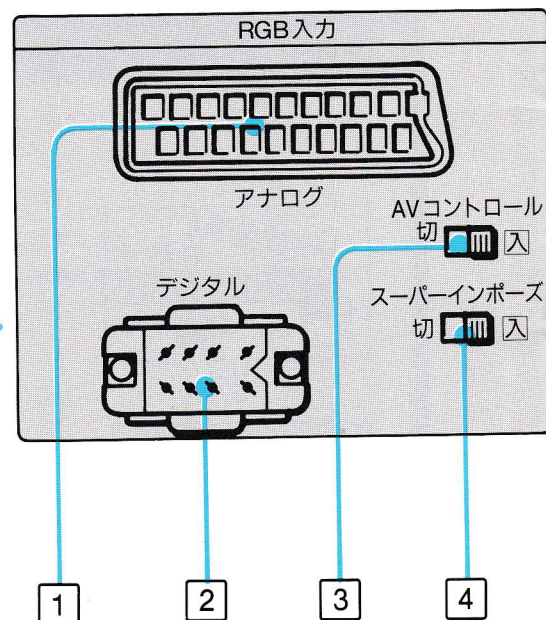
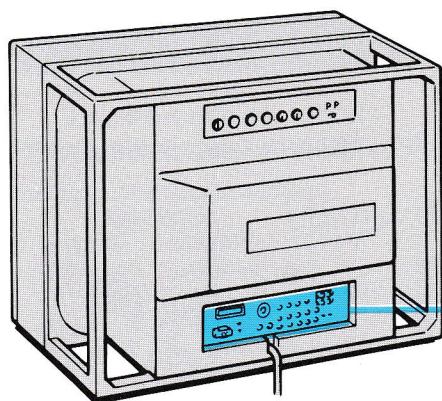
モニター1
モニター2
モニター3

ビデオ1
入力

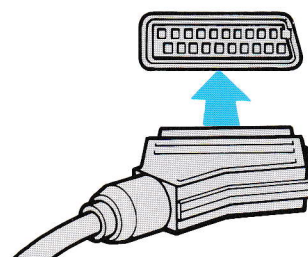
コントロールS入力
コントロールS出力
コントロールS入力
コントロールS出力
モニター出力

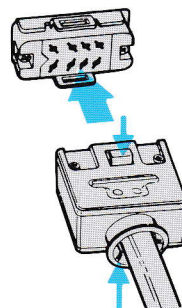
コントロールＳ入/出力を持つ機器
（例 VT-X5R）

カラーテレビチューナーを1台目のモニターのビデオ1マルチ入力端子につなぎ、さらにチューナーのコントロールＳ入力とモニターのコントロールＳ出力をつないだ場合、1台目のモニターのCONTROL WIRED IN スイッチはOFFにします。2台目以降のモニターでは、CONTROL WIRED IN スイッチはONに、CONTROL WIRELESS スイッチはOFFにします。

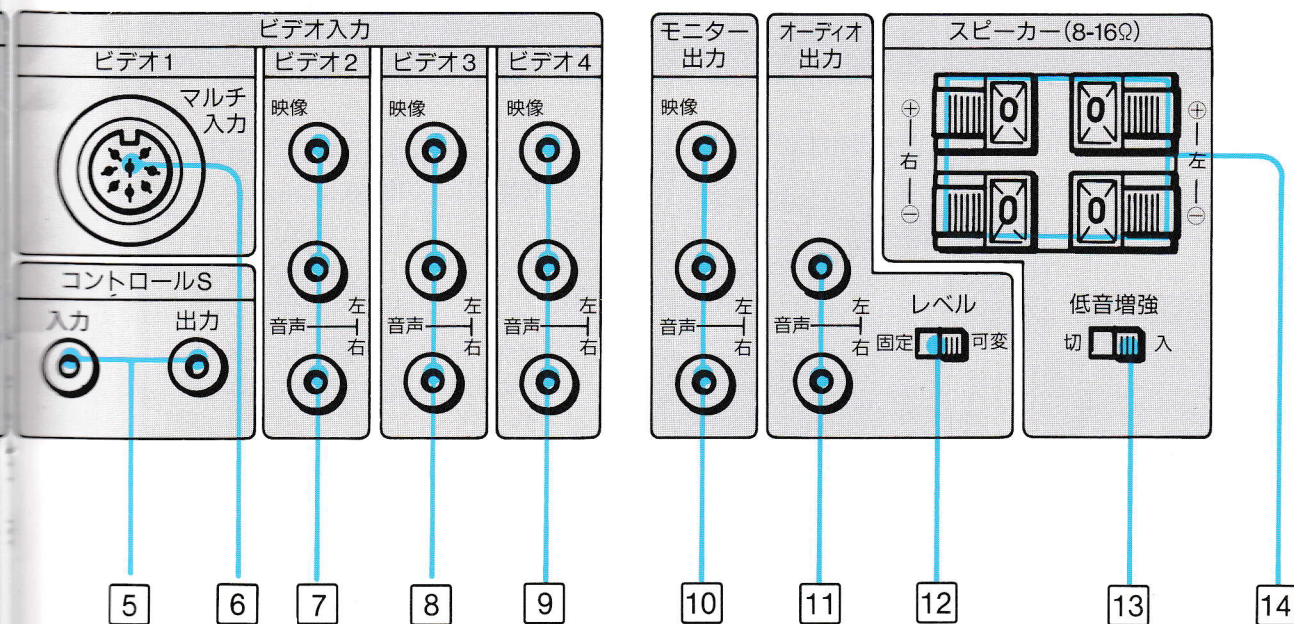
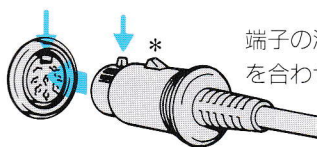
- 上図のような接続をすれば、1台のモニターに、付属の、または他の機器のリモコンを向けるだけで複数のモニターを操作できます。
- リモコンを向けて操作する中心モニター（上図ではモニター1）のコントロールS出力は必ず映像ソースとなるチューナーなどのコントロールＳ入力へつないでください。
- モニターの電源が入っていないとモニター出力からは何も出力されません。

次のような接続をすると、コントロール信号が混乱して、正常な操作ができません。

接続端子の名前

1 アナログRGB入力 36
2 デジタルRGB入力 36
3 AVコントロールスイッチ 12
4 スーパーインポーズスイッチ 12
5 コントロールS入力・出力端子 22～27
6 ビデオ1マルチ入力端子 36
7 ビデオ2(映像・音声)入力端子 36
8 ビデオ3(映像・音声)入力端子 36
9 ビデオ4(映像・音声)入力端子 36
10 モニター(映像・音声)出力端子 36
11 オーディオ出力端子 31、36
12 オーディオ出力レベルスイッチ 31
13 低音増強スイッチ 30
14 スピーカー端子 30

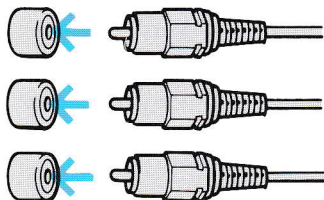
各種端子へのつなぎかた

アナログRGB入力端子（21ピン）

ピンの向きを合わせてさし込む。

デジタルRGB入力端子（8ピン角型）

ピンの向きが合うようにさし込む。

はずすときは、コネクター上下のボタン(→印)を押しながら抜く。

ビデオ1マルチ入力端子（8ピンDINタイプ）

端子の溝とプラグ先端の突起部（→印）を合わせてさし込む。

はずすときは、プラグの＊印の突起部を押しながら引き抜く。

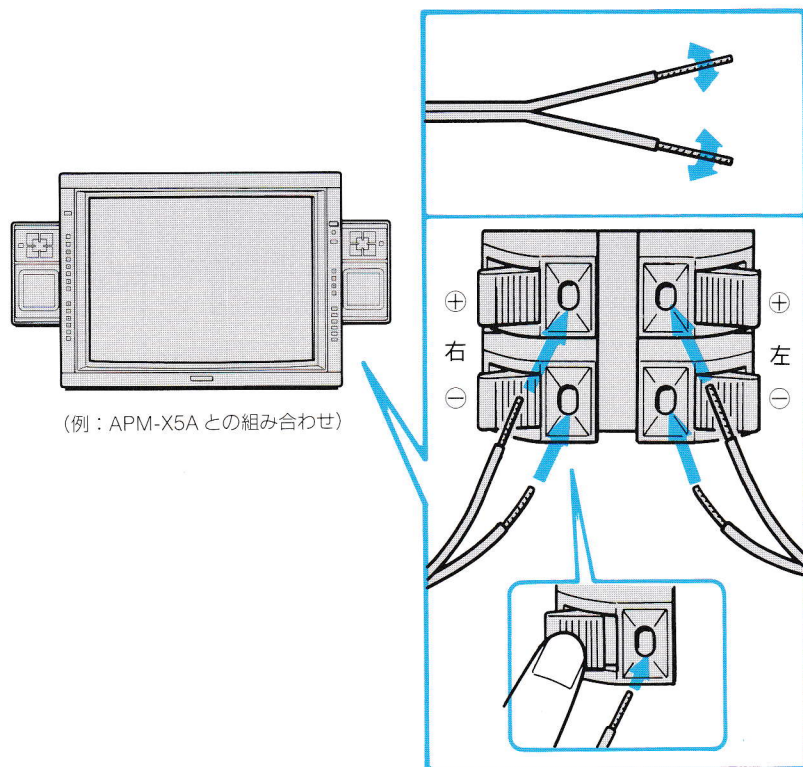
ビデオ 2/3/4 入力端子
モニター出力端子
オーディオ出力端子
（ピンジャック）

端子と、ピンプラグの色が一致するように。

接続上のご注意

- 電源を切ってから行います。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音などの原因になります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜きとってください。
- 各端子にそれぞれの機器をつないだ場合、お互いの干渉を防ぐために、お使いにならない機器の電源スイッチを切っておいてください。
- 画像や音にノイズや雑音が出るときは、つないだ機器がモニターに近すぎることがありますので、十分離してください。

あなたが放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

スピーカーの接続

スピーカー端子に直接つなぐには

（例：APM-X5A との組み合わせ）

コードの先端部分（15mm）の被覆を切りとり、心線をよじる。

ボタンを押しながらコードを端子穴の奥までさし込みボタンをはなします。

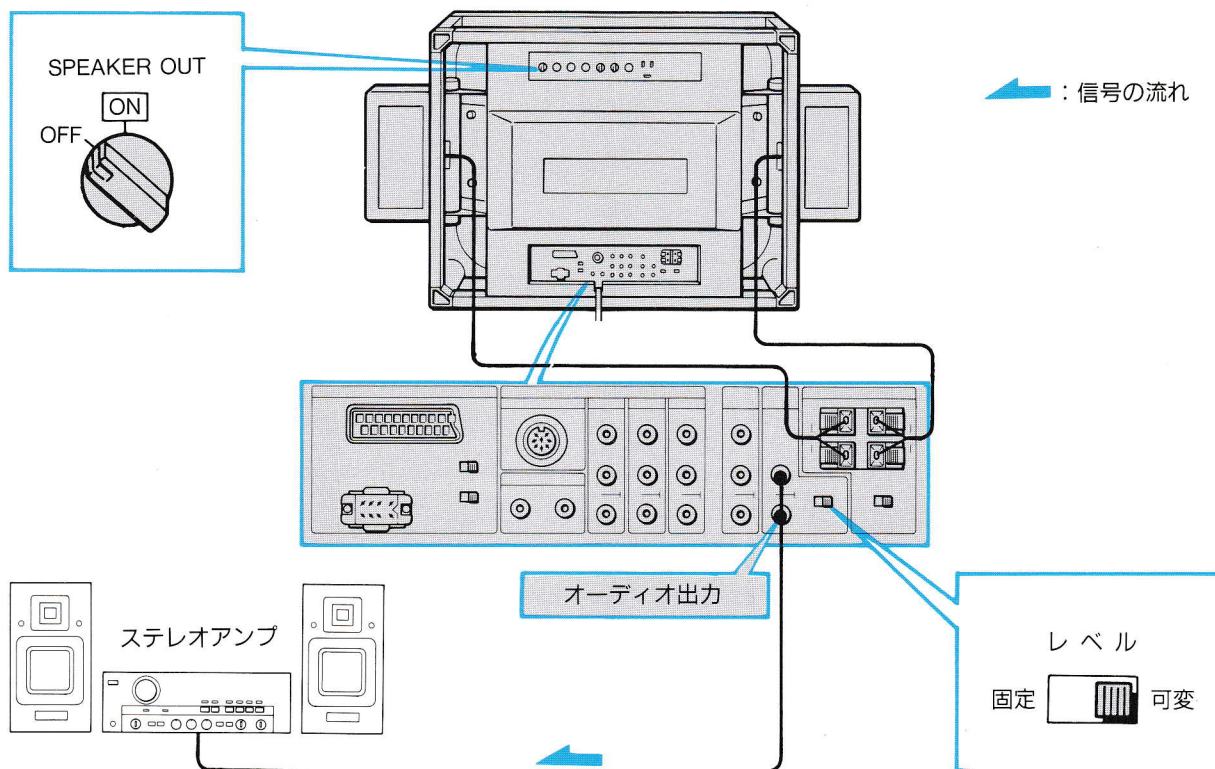
コードを軽く引っ張り、接続を確かめてください。

接続について

- 心線がはみ出してスピーカー端子同士がショートしないようにしてください。
- コードと端子の左右や ⊕ ⊖ をとり違えないようにしてください。
- 一組のスピーカーをお手持ちのアンプとモニターの両方へ接続すると、スピーカーコードを通じてアンプから過大な電流が流れることがあり、モニターの故障の原因になります。

スピーカーの種類について

- インピーダンスが8～16Ωのものをお使いください。
- スピーカーの説明書も併せてご覧ください。
- 磁気シールドされていないスピーカーをお使いになるときはモニターに密着させておくと、磁力の影響で色ムラが起こることがあります。この場合は、スピーカーをモニターから離してお使いください。色ムラが残っていたら、裏面上部の DEGAUSS ボタンで色ムラを消してください。
- 大型のスピーカーシステムを使い、低音が強調されすぎるときは低音増強スイッチを「切」にします。

お手持ちのステレオシステムで音を聞くには

1 モニターのオーディオ出力端子に、ステレオアンプなどをつなぐ。

2 裏面上部のSPEAKER OUT（スピーカー アウト）スイッチをOFFに。
これで、モニターのスピーカー端子に直接つないだスピーカーからは音が出なくなります。

3 接続端子板のオーディオレベルスイッチをお好みに応じて切り換える。
モニターまたはチューナーの本体または各リモコンで音量、音質を変えるには／ミューティングするには ⇨ **可変**に＊
音量または音質を一定にするには ⇨ **固定**に

＊音量の可変範囲はステレオアンプ側の音量つまみの位置で決まります。

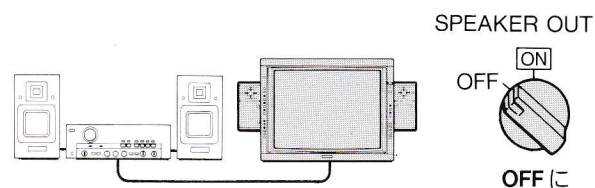
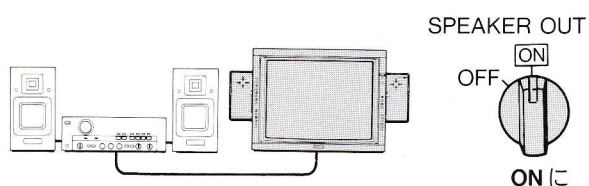
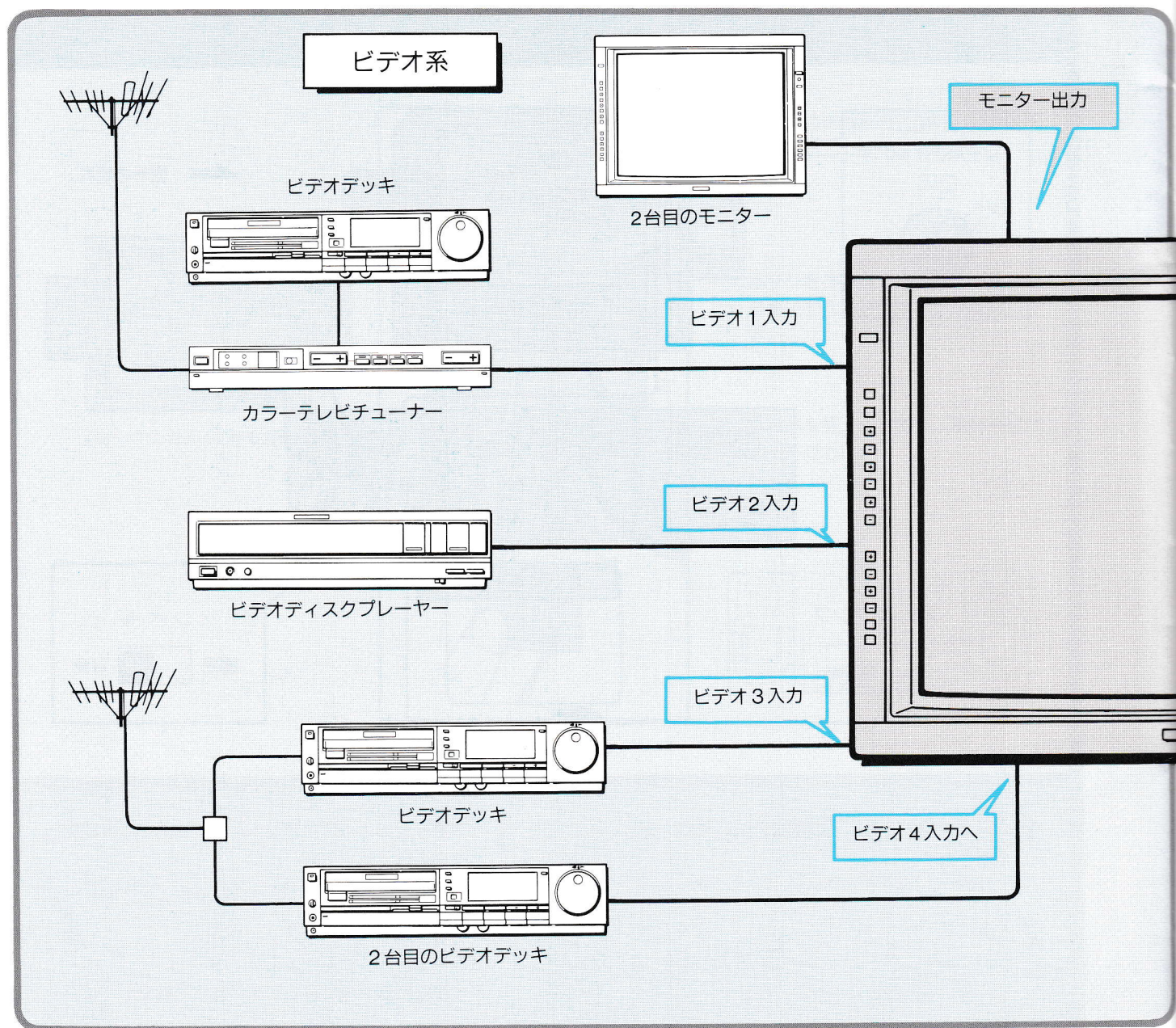
これは便利

スピーカー端子へ直接つないだスピーカーとステレオシステムの両方を使いわけるには

SPEAKER OUTスイッチの切り換えで、スピーカー端子につないだスピーカーからの音を出したり、切ったりすることができ、どのスピーカーで音を聞くかを選べます。

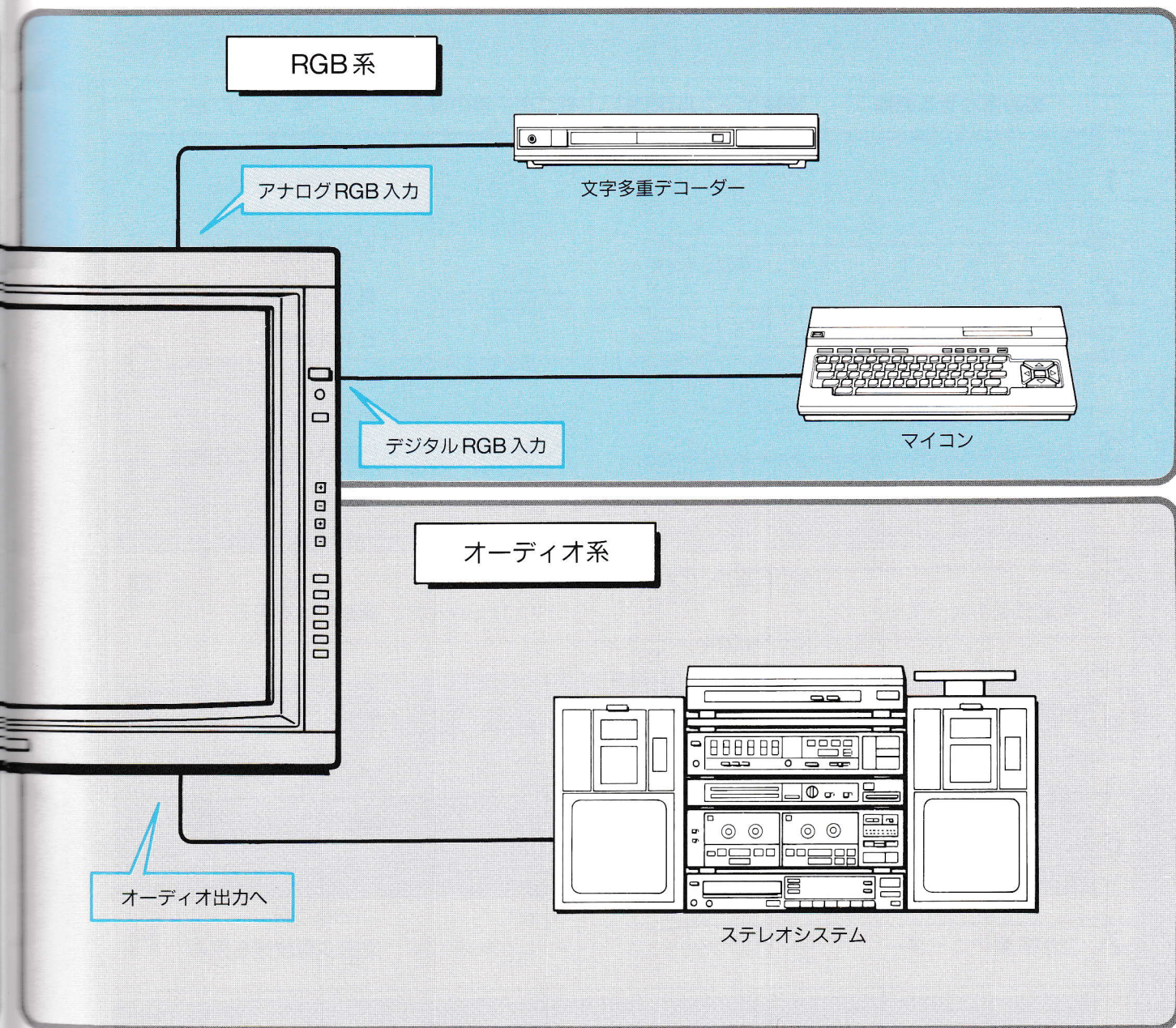
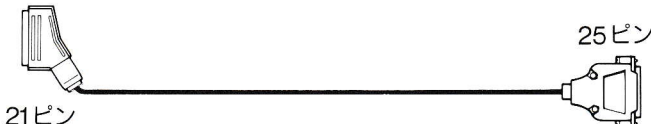
スピーカー端子へ直接つないだスピーカーで音を聞くには

オーディオ出力へつないだステレオシステムで音を聞くには

スピーカーの接続

システムアップ組み合わせ例

接続できる機器

ビデオ系	
カラーテレビチューナー	VT-X5Rなど
ビ デ オ デ ッ キ	SL-HF900, SL-HF900 MK II, EV-A300, EV-S700など
ビデオディスクプレーヤー	LDP-525など
映像音声出力付きマイコン	HB-75, HB-55など
衛星放送チューナー	SAT-10Rなど

RGB系	
アナログRGB出力付きマイコン	SMC-777C, HB-701 (FD) など
文字多重デコーダー	TXT-20など
キャプテンデコーダー	VDX-30/-31など
デジタルRGB出力付きマイコン	

RGB系
アナログRGB入力
文字多重デコーダー
デジタルRGB入力
マイコン
オーディオ系
オーディオ出力へ
ステレオシステム

接続早見表

		組み合わせる機器	接続ケーブル(別表)	モニター側の端子	使いかた
ビデオ系	1	カラーテレビチューナー	A VK-2D	ビデオ1入力	テレビ番組を見る
	2	ビデオデッキ または チューナータイマーユニットとポータブルデッキ	B 付属のビデオ用コード + C RK-C74	ビデオ2,3または4入力	テレビ番組を見る 見ている番組を録画する ビデオの再生
	3	ビデオディスクプレーヤー	ビデオディスクプレーヤーに付属のコード または B 付属のビデオ用コード + C RK-C74	ビデオ2,3または4入力	ビデオディスクの再生
	4	衛星放送チューナー	B 付属のビデオ用コード + C RK-C74	ビデオ2,3または4入力	衛星放送を見る
	5	映像・音声出力付き マイコン	B 付属のビデオ用コード + E RK-C71	ビデオ2,3または4入力	文字やカラーグラフィックを見る マイコンソフトゲーム
RGB系	6	アナログRGB出力付き マイコン	F SMK-702 または G VMC-2121	アナログRGB入力	文字やカラーグラフィックを見る マイコンソフトゲーム
	7	文字多重デコーダー	G VMC-2121	アナログRGB入力	文字多重放送を見る
	8	キャプテンデコーダー	G VMC-2121	アナログRGB入力	キャプテンシステムの画像を見る
	9	デジタルRGB出力付き マイコン	モニターに接続する側が8ピン角型のコネクター付きケーブル	デジタルRGB入力	文字やカラーグラフィックを見る マイコンソフトゲーム
オーディオ系	10	オーディオシステムのステレオアンプ	C RK-C74	オーディオ出力	テレビ、ビデオなどの音をステレオで聞いたり録音する。

- 機器によっては接続が異なる場合がありますので接続する機器の説明書もご覧ください。
- 接続する機器側にACアウトレットがある場合は、モニターの電源コードをつないで電源をとることもできます。
（モニターの最大消費電力183W）

接続ケーブル

A	VK-2D -10D	2.5m 10m	8ピンプラグ　　8ピンプラグ
B	付属のビデオ用コード VMC-3S	1.5m 3m	ピンプラグ　　ピンプラグ
C	RK-C74 音声用	1.5m	ピンプラグ（×2）　　ピンプラグ（×2）
D	VMC-1P3 -2P3	1m 2m	ピンプラグ（×3）　　ピンプラグ（×3）
E	RK-C71	3m	ピンプラグ　　ピンプラグ（×2）
F	SMK-702	2m	21ピン　　25ピン
G	VMC-2121	1.5m	21ピン　　21ピン
H	RK-G69 -G34	1m 3m	ミニプラグ　　ミニプラグ

- B + C のかわりに D のVMC-1P3またはVMC-2P3もお使いになれます。
- コントロールS端子同士の接続には H のRK-G69またはRK-G34をお使いください。

接続図

アナログRGB
出力付き
マイコン
カラーテレビチューナー
モニター出力
スピーカーシステム
2台目の
モニター
ビデオ入力
文字多重デコーダー
キャプテンデコーダー
F
または
G
G
A
B
+
C
RGB入力
アナログ
AVコントロール
切
入
デジタル
スーパーインポーズ
切
入
ビデオ入力
ビデオ1
マルチ
入力
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
映像
音声
左
右
コントロールS
入力
出力
モニター
出力
オーディオ
出力
スピーカー (8-16Ω)
レベル
固定
可変
低音増強
切
入
B
+
E
B
+
C
C
ライン
入力
くわしくは
㉒ページから。
ステレオ
アンプ
＊
映像・音声出力
ライン出力
ビデオデッキ
ライン出力
ビデオディスクプレーヤー
映像・音声出力
衛星放送チューナー
デジタルRGB出力付き
マイコン
映像・音声出力付き
マイコン
＊モニター側が8ピン角型コネクターのケーブル
：信号の流れ

主な仕様

カラーモニター　KX-21HV1/27HV1

受信方式　NTSC方式
カラー再生方式　トリニトロン方式
ブラウン管　KX-21HV1　トリニトロン 100度偏向21型
40.5×30.4、50.6cm
（幅×高さ、対角線径）
KX-27HV1　トリニトロン 114度偏向27型
50.8×38.1、63.5cm
（幅×高さ、対角線径）
表示文字　水平周波数 15.75KHz時：2000文字
（640×200ドット、80文字×25行）
ビデオ1入力(マルチ入力)端子
8ピンDINコネクター
下記の映像・音声、コントロールS入力と同じ
ビデオ2/3/4入力端子　映像入力：ピンジャック、1Vp-p、75Ω
不平衡、同期負
音声入力：ピンジャック、2チャンネル
408mVrms
インピーダンス47KΩ
モニター出力端子　映像出力：ピンジャック、1Vp-p、75Ω
不平衡、同期負
音声出力：ピンジャック、2チャンネル
408mVrms（100％変調時）
インピーダンス5KΩ
オーディオ出力端子　ピンジャック
出力：408mVrms(固定時)、
0～408mVrms
(可変時)/(100％変調時)
インピーダンス5KΩ
出力レベル固定／可変スイッチ付き
コントロールS入力　ミニジャック、5Vp-p
出力　ミニジャック、5Vp-p
アナログRGBマルチコネクター　21ピン（ピン配列は別表）
デジタルRGB入力端子　8ピン角型（ピン配列は別表）
スピーカー端子　インピーダンス 8～16Ω
低音増強付き
音声出力　KX-21HV1　7W＋7W（EIAJ/8Ω）
(実用最大出力)　KX-27HV1　15W＋15W（EIAJ/8Ω）
電　源　AC 100V、50/60Hz

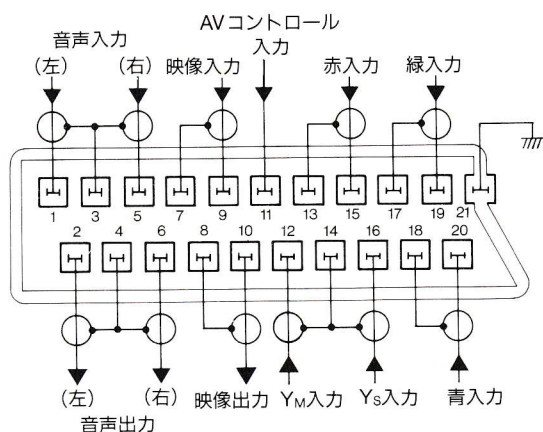
	KX-21HV1	KX-27HV1
消費電力	140W	183W
（スタンバイ時）	(1.8W)	(1.8W)
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	51.6×40.9×47.9cm	65.3×50.8×48.9cm
重量	30.5kg	51.5kg

付属品　リモートコマンダー RM-543　(1)
接続コード（ビデオ用、ピンプラグ↔ピンプラグ、1.5m）　(1)
取扱説明書　(1)
使用上のご注意　(1)
保 証 書　(1)
サービス窓口、ご相談窓口のご案内　(1)
回 路 図　(1)

リモートコマンダー　RM-543

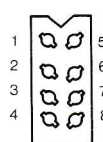
リモコン方式　赤外線パルス方式
電　源　DC 3V
乾電池 単3型（SUM-3）2個
外形寸法　4.3×2.0×17.5cm
（幅×高さ×奥行き、ボタン含む）
重　量　105g（電池含む）
付属品　ソニーニュースーパー乾電池
SUM-3（NS）　(2)
スライダー　(1)

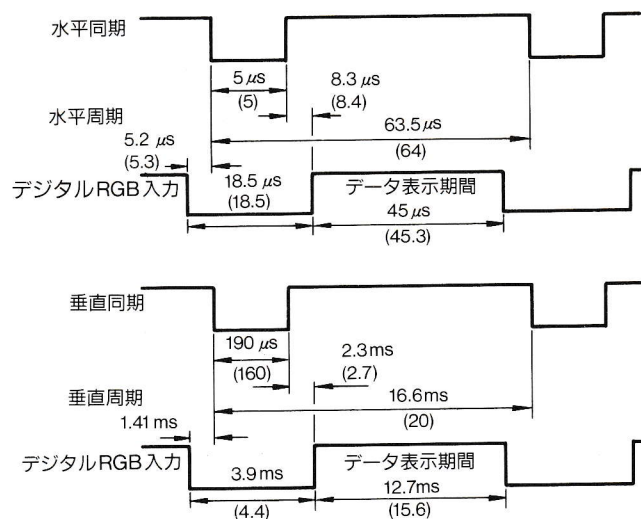
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

アナログRGBマルチコネクター

ピン信号	信　　号
1	音声入力（左）（408mVrms, 100%変調時, 47KΩ）
2	音声出力（左）（408mVrms, 100%変調時, 5KΩ）
3	アース
4	アース
5	音声入力（右）（408mVrms, 100%変調時, 47KΩ）
6	音声出力（右）（408mVrms, 100%変調時, 5KΩ）
7	アース
8	アース
9	映像/同期入力（1Vp-p, 75Ω, 同期負）
10	映像/同期出力（1Vp-p, 75Ω, 同期負）
11	AVコントロール入力 *
12	Y_M入力
13	アース
14	アース
15	赤入力（0.7Vp-p, 75Ω, 正極性）
16	Y_S入力
17	アース
18	アース
19	緑入力（0.7Vp-p, 75Ω, 正極性）
20	青入力（0.7Vp-p, 75Ω, 正極性）
21	プラグシールド

日本電子機械工業会　　TTC-003準拠

* AVコントロール 入/切スイッチ付き

デジタルRGB入力端子

ピン番号	信　　号	
1	非　接　続	
2	赤入力	TTLレベル 正極性
3	緑入力	
4	青入力	
5	ア ー ス	
6	ア ー ス	
7	水平同期入力	TTLレベル 負極性
8	垂直同期入力	

標準タイミングチャート

（　）内の数字は水平周期64 μs、垂直周期20 msのとき

（　）外の数字は水平周期63.5 μs、垂直周期16.6 msのとき

ご注意

接続するマイコンのタイミングで推奨信号以外の信号を入力したときは、文字表示領域の大きさが変化したり、画面の位置がずれたりすることがありますが、これはモニターの故障ではありません。

別売りアクセサリー

カラーテレビチューナー	VT-X5Rなど	
スピーカーシステム	APM-X5Aなど	
接続コード	㉟ページの一覧表をご覧ください。	
テレビスタンド	KX-21HV1用	SU-117
	KX-27HV1用	SU-118
	KX-21HV1用	SU-3X
	KX-27HV1用	SU-5X

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを ➡ この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ ➡ お買い上げ店、または添付の"サービス窓口、ご相談窓口のご案内"にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は ➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は ➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

なお、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：KX-21HV1またはKX-27HV1

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

異常と思ったら

音は出るが画面が映らない。煙が出ている、変な音やにおいがするなどの故障状態のまま使用すると危険です。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611

Printed in Japan

4-482-271-**01**(1)